

ハンゲショウ

Saururus chinensis (Lour.) Baill.
ドクダミ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の開発等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

低地の水辺や湿地に群生する多年草。地下茎は太くて横に這い、茎は高さ50～100cmになる。葉は長さ5～15cm、5～7脈がある。柄は長さ1～5cmで、幅が広い。6～8月頃、長さ10～15cmの花序に多数の花を付ける。開花時に、花序に近い葉の下半部が白くなる。

生育を脅かす要因

湿地開発、土地造成、植生遷移等による生育環境の消失や悪化のほか、山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（2001）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○							○	○	○			○	○

ウマノスズクサ

Aristolochia debilis Siebold et Zucc.
ウマノスズクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

最近では嶺南の河川敷での採集記録がある。産地が限られ、個体数も少ない。

分布

本州（中部地方以西）～琉球に分布。県内では嶺南、及び嶺北に数箇所分布している。

種の特徴

川の土手や森林の林縁に生えるつる性の多年生草本。葉は互生し、三角状卵形、長さ4～7cm。花期は7～9月。花は葉腋につき、黄緑色。花被の基部は球形で、そこから筒状に伸び、先は広がる。果実は球形、垂れ下がる。

生育を脅かす要因

河川工事、道路工事、宅地造成、農薬汚染。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○				○	○					○	○	○

ムサシアブミ

Arisaema ringens (Thunb.) Schott
サトイモ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県は本種の北限域で、生育地も限定され、個体数も少ない。

分布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では嶺南地方に分布する。

種の特徴

海岸に近いやや湿った林内に生える。葉は2個つき、小葉は3個。葉柄は高さ15～30cm。花期は3～5月。葉柄の間から葉よりやや低い花茎をだし、仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。仏炎苞は暗紫色か緑色まで変化があり、白い筋がある。花序の付属体は白い棒状。

生育を脅かす要因

海岸開発、森林伐採、道路の新設や拡幅工事等による開発によって生育環境の悪化が生育を脅かす要因となる。また珍しい花であるため園芸採取の対象となりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○												